

はばたき

2016. No. 82

ご挨拶

大久保学園 理事長 鈴木 碩



今年はと
ても暖かい
新年をお迎
えになられ

たことと存じます。皆様におか
れましては、平素から社会福祉
法人大久保学園の事業の推進に
対しまして、格別のご理解と
ご支援を賜り厚く御礼申し上げ
ます。

当法人の全ての事業運営が安
定的に継続性を持ちながら、地
域に必要とされる公益性の高い
幅広い事業の展開となるよう
に、役員が一丸となって取り
組んで参る所存です。どうぞ本
年におきましても引き続きご支
援くださいますようお願い申し
上げます。

さて、本年度は平成二五年四
月に施行された障害者総合支援
法の施行後三年を目途とした、
障害福祉サービスの在り方等に

ついでに議論も終了し、その結
果に基づいて必要な措置を講ず
ることとされ、所謂三年後の見
直しについての報告がされるこ
ととなっております。今後、この
報告に基づき、総合支援法の施
行状況を踏まえて、関係法律
の改正や平成三〇年度に予定
されている障害福祉サービスの
報酬改定等に向けて、具体的検
討を進めていくこととなってい
ます。

また、本年四月には「障害を
理由とする差別の解消の推進に
関する法律」障害者差別解消法
が施行され、障害者の人権と権
利擁護の総まとめとなる法律が
施行されます。

私達は、これらの制度と法の
改正に対する理念を自覚し、社
会福祉法人の役割を十分に果た
しながら、丁寧な事業展開を進
めて参ります。

障害者支援施設大久保学園
をはじめとした、ふなばし工
房・みらい工芸館、指定管理光
風みどり園、同じく指定管理み
どり園に加えて、袖ヶ浦市に拠
点を置く代宿地域支援セン
ターの事業譲渡と事業引継ぎ
を円滑に、より安全に進めて参
ります。

このことには、千葉県、船橋
市をはじめとした行政・関係機
関の皆様と保護者、利用者の皆
様に、ご理解とご支援を戴きな
がら実施する事業であること
を、役員一同肝に銘じて、今
後も社会福祉事業の本質を見
失うことなく、地域にしっかりと
と根差した法人として進んで
いくことをお約束いたします。
どうぞ皆様におかれまして
は、本年も健康でご活躍されま
すことを、心から祈念いたしま
してご挨拶とさせていただきます。



利用者の暮らしの中で

大久保学園 支援係長

筋野 進

ある休日の早番業務の朝、学園に到着するいつもの利用者が開口一番「おはようー」と元気に駆けつけてくれる。私自身の仕事への前向きな動機付けとなり、今日も1日頑張ろうと笑顔になれる。

タイムカードを打刻し、まずは食堂で朝食の準備。エプロンを着け、三角巾を頭にかぶり配膳準備に入る。食堂前の廊下には早くご飯にしてくれと多くの利用者が集まり、みんなに急かされる雰囲気の中、準備をしている支援員は慌ただしく動き回る。

準備を終え、ようやく朝食が始まる。食堂ドアをオープンした途端、デパート開店の如く利用者が食堂へ駆け込む。中には特別食(刻み・ペースト等)も含まれる為、間違えのな

いように配膳していく。セルフ方式の為、中には隠れてふりかけを2個取ってしまったり、時間をかけておかずの大小を見極めている方もいる。その為、配膳列は長蛇となり並んでいる利用者からは「早く!!」とブーイングの嵐。トラブルにならないよう色々な場面に目を向け、朝食が終わる頃にはヘトヘト……。まだ仕事が始まって2時間しか経っていないのになあと一人ため息をつく。

次に歯磨き支援。この日は12名の歯を磨かせてもらったが、18年間利用者の歯を磨いているので、プロの域に達しつつあると自身で思うのは少し自意識過剰なのか……。

昼間は3か所のトイレを掃除。ろくに家のトイレも掃除しないのに、この時ばかりは他の支援員や利用者

に対して、みんなで掃除しようぜと意気込む。その後、廊下で利用者も他愛もない話をしている間に早くも

けないのは支援員が笑顔で接する事であると思う。

朝食の準備。朝食時同様に忙しい時間となる。昼食が終われば歯磨き、午後はみんなが毎回楽しみにしているカラオケ大会。盛り上がりは見せるものの、利用者の大きな歌声が頭の芯までしびれるくらいに響き渡る。夕方は入浴、居室の布団敷き。その頃には夜勤業務の職員が支援に加わる。パトントッチをして業務終了。このように日々、利用者の暮らしの中には私たち支援員が携わり、寄り添う訳であるが、充実した暮らしとはと考えた時、一般的には外出に出掛けたり、清潔な居住スペースで過ごす事が挙げられると思う。この事はリーダーを中心に支援員が工夫を重ねて少しでも出掛けられる機会を増やしたり、居室のレイアウトを考えてより良い住環境にしたりと常に施設全体で向上していけるように努めている。

利用者の暮らしの中にも自然とした表情で入り込む事ほど失礼な事は無い。逆に自然としている表情の利用者をどのように笑顔にしていくのかを考えるのが支援員の大切な役割である。時には冗談を言って笑ったり、一緒にテレビを観て共感したりという生活の中の「当たり前」のスタイルを忘れる事なくこれからも楽しめる・安らげる心地良い暮らしの提供方法を職員全体で創造していきたい。

そして我々が何よりも忘れては

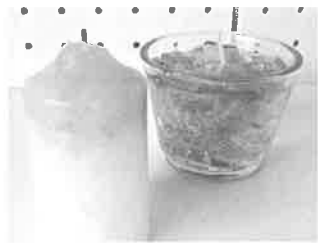
簡単そうで、そうではない利用者支援。1+1=2でなく3の時や4の時があるというこの業務の深みを全体で共有し、ケースバイケースによつての瞬時の判断力を養い、暮らしの満足感を少しでも上げられるようにこれからも邁進していきたい。一歩ずつ一歩ずつ目に見えないところこそを大切に……。

みどり園 造形班

昨年の6月から利用者さん19名と始まった造形班の活動。早いもので、もう1年が過ぎました。キャンデル製作を軸に活動していくことは言われていましたが、キャンデル作りの経験者もいなければ利用者さんがどのような作業が出来るのかも解らない。ただ上司から渡された数枚のキャンデル研修の資料があるだけでした。資料に書かれていることの半分も解らなければ、何がどうなるのか、まるで想像が付かない状態。聞いたことの無い道具に材料、用語、調べてはまた解らないことが増えていくことの繰り返しでした。ようやく道具と材料を揃え、ワックス(キャンデルの主原料)を溶かし、着色し、型に入れる。文字で見ると単純でこれだけの工程なのに、いざ作ってみると思うようにはいかず失敗の連続。なかなか利用者さんに作業を提供するところまでいきませんでした。

ワックスが固まり過ぎて型が抜けなかったり、着色料を入れすぎて火を付けてもすぐに消えてしまったりと初めてのキャンデル作りに職員も試行錯誤の日々。それでも少しずつワックスの扱いにも慣れ、利用者さんと一緒にどんなキャンデルが作れるのか考えて、作り始めたのがブロックキャンデルでした。板状に固めたワックスをブロック状にカットし、それを型に入れ注釈し固める。いたってシンプルなお作業工程ですが、初めは利用者さんもブロック状にカットすることが上手くできませんでした。厚すぎたり、太かったりすると硬すぎてしまい、逆に薄かったり、細かったりすると砕けていました。利用者さんに合わせ厚みや太さを変え、砕けないようにワックスの配合も変えていきました。作業が始まって1年ちよつと、今では、園内、園外で販売出来る製品に仕上がりがり、製品開発で陶芸班とコラボレーションするなど新たな展開もできるようになりました。

キャンデル作りに参加できない利用者さん達は、牛乳パックを千切ってもらい、紙を漉き、その紙でキャンデルの販売用のケースを作っています。まだまだ色々な可能性を秘めた利用者さん達と更に素敵なキャンデルを作っていけるように頑張っていけます。(秋谷)



日中活動紹介

光風みどり園 室内作業班

光風みどり園では、8月から新たな作業班が誕生しました！その名も「エコリサイクル班」。私たちもよく目にするコンビニのレジの脇にある「タバコ」メーカーの様々なキャンペーングッズ。宣伝の移り変わりが早いこの分野は、短時間でタバコをアピールするグッズの廃棄物が多量に出てきます。この廃棄物を新たな資源に変わるものとゴミになっってしまうものに分別していきます。作業の収入は、その分別代と資源として分けられた資材の重量で決まっていきます。段ボールや紙類は新たな資源として回収されます。その他プラスチックや金属の携帯灰皿、ライター等が廃棄物や再資源として回収されていきます。

今回、この作業を行う事になったのは永年様々な紙袋を作り続けて10年の室内作業班。50名の利用者さんが慣れ親しんだ製袋作業を新規作業に変更するのは大変な決断でした。積み重ねてきた技術がまたゼロからのスタートになる部分もある為、スタッフも慎重に検討を重ねました。

開始に至る前に、県内で先駆けてこの作業を行っている習志野にある「あかね園」さんに見学をさせて頂き、作業内容と流れや売り上げなど詳細を伺いながら進めました。

分別は作り上げる作業と違い分解したり折り曲げて収納したりと資材の取り扱いについてもそれほど注意を必要としません。ただ分別種類の見分け方が難しい部材もあり、しばらくは職員もチェックを繰り返しながら量より質を重視して作業の精度を上げていくかたちになります。

10数年間に渡る室内作業から大きな方向転換をしたことで混乱や意欲の低下も心配されましたが今のところその心配は……。かえって利用者さんも目新しい部材や作業工程に大きな期待と湧き出る興味で目を輝かせています！

ともあれ作業内容が一新され職員も気持ちも新たに、更なる利用者さんの力を引き出せる機会として皆さんとともに汗を流していきたいと思えます。(入澤)



行事予定

大久保学園	
2/7	駅伝大会
2/13~14	手をつなぐ作品展
3/15	理事会
3/20	法人全体会議 わかば会送別会
3/27	佐倉マラソン
3月	お別れ会
ふなばし工房	
2/21	保護者会
2/13~14	手をつなぐ作品展
光風みどり園	
2/13~14	手をつなぐ作品展
3月	保護者会
みどり園	
2/13~14	手をつなぐ作品展
2/16	東葛北ブロック 柏イオンモール販売会
2/20	保護者役員会
3/26	保護者会

保護者会より寄贈して戴きました



食器保管庫

皆さん、とても喜んで使用しています。ありがとうございます。ございました。



コップと乾燥滅菌機

寄付金

平成二十七年六月二十七日
平成二十七年二月二十五日

〔後援会〕
 林 宣男・初山敏雄・七海勝則・鈴木勝子
 矢作 榮・渡邊 晃・矢口勇雄・吉内厚子
 吉内美保・針谷喜美恵・平山 実・木原勝美
 中村美智子・矢下春男・堀内靖夫・大谷京司
 金子澄子・大塚勝朗・大河原敏男・武正理恵
 中川聖治・川瀬育子・萩原 誓・糸川 昇
 中村靖雄・飯塚 昇・相内勝正・植草米子
 蛸島英二・陶山 勲・布施充蔵・布施義高
 末広自動車工業(株)・逆井 保・渋谷京子
 清水宏晏・石川 清・西原庸介・大川勝幸
 浅井栄三・野尻武生・井上英子・加藤房治
 吉田房夫・小松茂利・村林説子・徳村都史子
 吉田幸男・福谷長久・内田幸子・小淵佳枝
 友菊隆志・本 忠信・竹原カエ・西井建二
 本澤正行・豊田美紀・根本二夫・板橋ひと子
 枘 勇・染谷寛治・加増錦太郎・菅谷くに江
 長田全弘・石塚 波・山崎孝子・トーン 観光(株)
 井上正記・桐山 昇・(株)エイシンオート
 笹山晴夫・平井好江・鈴木キヨ子・岸 勝弘
 平 敏行・石塚 宏・中島久志・永沼貴子
 梅津正信・(株)伊賀屋・宮平由美子・廣瀬平二郎
 (株)サクraisスポーツ・並木信子・來栖 修

〔一般〕

関口多比子・平塚芳昭・矢島弘文・矢作 豊
 林 静子・高安裕子・野田 尚・白倉さよ
 佐藤政子・川上久雄・高橋 實・坪内宣昭
 奥田寛美・中島たき・青柳美和子・鈴木成子
 岡田敬司・大場富美子・近藤裕昭・津浦邦次
 岩崎与一・平山吉己・奥村 博・中村迪子
 山路康一郎・栢野芳子・谷口貞雄・飯塚三郎
 伊都一利・萩原幸男・山崎つたい・室井眞子
 齋藤 武・多賀多恵子・岩間家具産業
 協栄農産(株)・上條茂樹・平野義直・日下部敏和
 岡野悦子・依知川一成・依知川節子・渡邊弘子
 原田キク子・遠藤 登・平岡勝彦・高橋靖昭
 新里玲子・鈴木壽子・長島隆男・長谷部健二
 木延久子・鈴木葉子・太田康明・大野充子
 安田早苗・松本和子・田辺誠司・太田黒泰子
 柳原憲治・杉本浩司・工藤文一・仙石信夫
 平野義久・川尻儀一・北村一義・大澤征一
 岩田久子・米澤頼子・渡邊昭夫・長尾義秋
 齊藤尚夫・鴉沢美美子・星 欣男・大木まさ江
 橋本憲一

〔敬称略〕

〔一般〕
 (株)優芽舞 高橋周七・和田浩之
 (敬称略)

ありがとうございます

みどり園祭

お祝い金品

平成二十七年
十月十八日

(編)いちいの会・(編)野田芽吹会・(編)心聖会
 (株)東進ビルシステム
 (株)熊谷組首都圏支店・鈴木借雄
 みどり台自治会 会長 澤寿男
 (株)メフォス・(株)伊藤園柏支店
 (敬称略)

ありがとうございました

それぞれの施設だより

大久保学園

学園の利用者達も
 少しずつ歳を重ねて
 います。以前に比べ
 水分を自ら補給する
 ことが難しい人も多
 くなって来ました。
 そんな折、職員間で



は今まで以上の水分量を確保して
 らうためにどうすれば良いかという
 議論になり、「コップ」を大きいも
 のに変えて見れば、緑茶や麦茶を飲
 むときに確実に量が確保出来るので
 はないかという発想に至りました。

コップ900個・保管庫・乾燥滅菌
 機は、保護者会から寄贈して頂いたも
 のです。本当に有難う御座います。

高齢者と言われる人が多くなつてい
 く中、これまでもとは違った形での支援
 が必要な場面も増えました。日々の変
 化に気づき、今までの支援を改めて見
 極め見直しながら皆さんの健康管理に
 努めていきます。(山口)

はばたき 二〇一六 八二〇

発行/平成二十八年二月

発行所/社会福祉法人 大久保学園

TEL 〇四七(四五七)二四六二

FAX 〇四七(四五七)四〇六九

URL http://www.okubogakuen.or.jp

E-mail shienka@okubogakuen.or.jp

編集/大久保学園 広報委員会

表題書/大久保学園長 中原 強